

かしま 議会だより

第68号

平成24年4月

■発行 佐賀県鹿島市議会 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314

■編集 議会だより編集委員会 ■印刷 松浦印刷株式会社



鹿島市庁舎前の桜



花と酒まつり

今回の記事・企画

3月定例会日程と議案	2～3 P
議案審議	4～5 P
一般質問	6～9 P
特別委員会報告	10～11 P
議会あれこれ	12 P

定例会

三月定例会

平成24年鹿島市議会

3月定例会会期日程

1、会期 自平成24年3月1日 至平成24年3月23日

2、日程

〔3月〕

- 1日・開会
・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・議案の一括上程
・市長の提案理由説明(議案研究)
2日・休会
3日・休会
4日・休会
5日・議案審議
6日・議案審議
7日・休会
8日・総務建設環境委員会
9日・新年度予算審査(現地調査)
10日・休会
11日・休会
12日・新年度予算審査
13日・新年度予算審査
14日・新年度予算審査
15日・新年度予算審査
16日・一般質問(2名)
17日・休会
18日・休会

- 19日・一般質問(3名)
20日・休会
21日・一般質問(3名)
22日・一般質問(2名)
23日・委員長報告、議案審議
・質疑、討論、採決
・開会

議案

市長提案議案等

- (1)報告第1号 専決処分事項の報告について(事故による損害の賠償)
(2)報告第2号 専決処分事項の報告について(事故による損害の賠償)
(3)議案第1号 平成24年度鹿島市一般会計予算について
(4)議案第2号 平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
(5)議案第3号 平成24年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
(6)議案第4号 平成24年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
(7)議案第5号 平成24年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
(8)議案第6号 平成24年度

Table with columns for members (中西裕司, 橋川宏彰, 松尾征子, 橋爪敏, 水頭喜弘, 福井正, 徳村博紀, 光武学, 松本未治, 松尾勝利, 伊東茂, 角田一美, 竹下勇, 勝屋弘貞, 稲富雅和, 中村一莞) and rows for various bills with '採決結果' (採決結果) indicating approval status (賛成多数, 賛成多数, 賛成多数, etc.).

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 ※…監査委員のため審議に参加できない

定例会

- (21) 鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
- (20) 議案第19号 平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- (19) 議案第20号 平成23年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- (18) 議案第21号 平成23年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
- (17) 議案第22号 平成23年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について
- (16) 議案第23号 鹿島市東部地区デイサービスセンターの指定管理者の指定について
- (15) 議案第24号 字の区域の変更について
- (14) 議案第25号 平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について
- (13) 議案第26号 鹿島市教育委員会委員の任命について
- (12) 議員提案第1号 鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について
- (11) 意見書第1号 北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- (10) 意見書第2号 不活化ポリオワクチンの早期導入を求める意見書(案)
- (9) 議案第7号 平成24年度鹿島市水道事業会計予算について
- (8) 議案第8号 鹿島市暴力団排除条例の制定について
- (7) 議案第9号 鹿島市情報公開条例の一部を改正する条例について
- (6) 議案第10号 鹿島市水防協議会条例の一部を改正する条例について
- (5) 議案第11号 鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
- (4) 議案第12号 鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
- (3) 議案第13号 鹿島市立公民館設置条例の一部を改正する条例について
- (2) 議案第14号 鹿島市民図書館設置条例の一部を改正する条例について
- (1) 議案第15号 鹿島市中心身障害児通園施設設置条例の一部を改正する条例について
- (0) 議案第16号 鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例について
- (-1) 議案第17号 平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について
- (-2) 議案第18号 平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について

次の事を審議し決定しました

【3月定例会】

議案第1号	平成24年度鹿島市一般会計予算について
議案第2号	平成24年度鹿島市公共下水道事業特別会計予算について
議案第3号	平成24年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計予算について
議案第4号	平成24年度鹿島市国民健康保険特別会計予算について
議案第5号	平成24年度鹿島市後期高齢者医療特別会計予算について
議案第6号	平成24年度鹿島市給与管理特別会計予算について
議案第7号	平成24年度鹿島市水道事業会計予算について
議案第8号	鹿島市暴力団排除条例の制定について
議案第9号	鹿島市情報公開条例の一部を改正する条例について
議案第10号	鹿島市水防協議会条例の一部を改正する条例について
議案第11号	鹿島市特別職の職員で非常勤のものの報酬並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例について
議案第12号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
議案第13号	鹿島市立公民館条例の一部を改正する条例について
議案第14号	鹿島市民図書館設置条例の一部を改正する条例について
議案第15号	鹿島市中心身障害児通園施設設置条例の一部を改正する条例について
議案第16号	鹿島市営住宅管理条例の一部を改正する条例について
議案第17号	平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第6号)について
議案第18号	平成23年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について
議案第19号	平成23年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
議案第20号	平成23年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第21号	平成23年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
議案第22号	平成23年度鹿島市水道事業会計補正予算(第2号)について
議案第23号	鹿島市東部地区デイサービスセンターの指定管理者の指定について
議案第24号	字の区域の変更について
議案第25号	平成23年度鹿島市一般会計補正予算(第7号)について
議案第26号	鹿島市教育委員会委員の任命について
議員提案第1号	鹿島市議会情報公開条例の一部を改正する条例について
意見書第1号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
意見書第2号	不活化ポリオワクチンの早期導入を求める意見書

議案審議

議案審議

議案第1号
農業強化対策について

橋爪敏 議員

質問 今年度より力強い農業構造実現に向けて、農地集積、及び新規就業計画がなされているが、その内容と対応は。

答弁 農地集積協力金や青年就業給付金等は「地域農業マスタープラン」の作成が前提条件である。

支援の主な内容は、農地を手放す農家に30万円から70万円の農地集積協

力金や新規就業者に年間150万円を支援する。

ただし、青年就業給付金の経営開始型は、45才未満で独立・自営就業であること、農地集積協力金は、遊休農地の保有者でないこと、全ての自作地を10年以上白紙委任すること等の給付要件がある。

平成24年度予算で対応していく。

議案第1号
大型公共事業への取組について

角田 一美 議員

質問 投資的事業や単独事業に積極的に取り組まれているが、税収が伸び悩む中で、今後も26年度

までに市民会館改築、学校耐震補強工事・改築事業等の大型公共事業が見込まれているが26年度末での財政収支見直しはど

うなるのか。

答弁 公債費が高い水準で推移し依然として大幅な財源不足が生じる見込みであり第2次行財政改革を確実に実施すると

もに、有利な国・県の補助事業、臨時財政対策債等を活用しながら公債費を12億円程度に抑えてまいりたい。

議案第1号
雇用促進住宅にエレベーターを

松尾 征子 議員

質問 新規事業の雇用促進住宅はどんなかたちで建て、エレベーターの設置が必要と思う。

答弁 空き室については、点検の上リフォームして受け取る。

今のところエレベーターを設置する考えはない。

金さえあればあることが望ましいとは思いますが、未来永劫付けないということは考えていない。

エレベーターを設置するとすれば3億円程度見込まれる。

議案第7号
23年度一般会計補正予算

水頭 喜弘 議員

質問 下水道の見直しについて今後の計画は。

答弁 下水道の見直しについて、23年度は庁内区域を決め、24年度に業

務委託の発注、25年度に都市計画の決定までもっていきたい。

24年度の素案がある程度進んだ段階で議会に報告をしたい。

議案第7号

23年度一般会計補正予算

松本 末治 議員

質問一 中山間地域総合整備事業飯田本浦地区圃場整備の農道崩壊整備は今補正に入っているのか。

答弁 新年度24年予算で対応する様計画している。

質問二 今年有明海海苔養殖でプランクトン異常発生で冷凍海苔は大きな

被害を受けている。栄養塩不足対策で施肥の実施がなされているが、これらへの対応策は。

答弁 現在まだ施肥についても継続中であり、終了に伴い、助成対応も考えている。

又、市として、今後海況の整備の為、県・国への開門要望及び潟土の浚渫対応を望む。

議案第25号

23年度一般会計補正予算

稲富 雅和 議員

質問 教育の事務局費で小学校、中学校の為に考えられた事業がたくさんあります。

減額補正で子供たちの為になっっていないかたの

答弁 緊急雇用での減額もあり、ハローワーク等での募集で人が見つから

なかった、途中で辞められた、予定人数より少なくなった。

一人一人の子供に対しきめ細やかな対応はしています。

議案審議

議案第1号反対討論

松尾 征子 議員

行財政運営は公平・公正でなくてはいけないとの立場からは24年度予算案には反対をします。

市民のくらしは益々厳しくなっている。

地方自治体は市民の生活向上を図ることである。市民の要求は置き去りにされています。

ことごとく財政が厳しいという理由です。このようななかでも小学校卒業までの医療費無料化や住宅リフォーム助成の継続など評価するものもあります。

しかし、いま「第2次行財政改革大綱」は民営化・民間委託職員の大規模削減に取り組み、市民サービス低下を招こうとしている。

ゆるせないのはいまだ改善されない同和事業で

す。

5世帯6人、2つの同和団体に二百七十万円の補助、さらに同和予算の大半が2つの団体の研修会や大会へ参加する職員の旅費。既に国は同和事業を廃止しています。

人権問題など必要なものは一般行政に組み込んで対応すればよいことです。

公平公正な市政運営を望むものです。



議案第1号賛成討論

松尾 勝利 議員

24年度予算は、経常的経費を極力圧縮しながら定住促進や子育て支援といった重要な政策的事業を推進する「第5次総合計画邁進型」の予算が組まれている。

定住促進対策としては、県の雇用促進住宅の購入、住宅リフォーム制度の延長助成が盛り込まれている。

子育て支援対策として、医療費助成について県の制度が設けられたことで、当市のさらなる助成拡充が図られている。

福祉の面では、市内3園の民間保育所の施設整備に支援されている。

基幹産業である一次産業においても新たな事業が数多く取り組まれてお

り総合的に評価できる。

これら多くの施策が「まちづくり」と一体となつて、市の発展浮場のために具現化されることを望む。

なお基金繰入が従来より多くされており運用が適正になされるように。



議案第25号賛成討論

鹿島市海苔養殖漁場環境改善対策事業

伊東 茂 議員

今期の海苔養殖栄養塩低下による被害は甚大であり海苔養殖関係者には厳しい結果となりました。

秋芽海苔が始まった直後の赤潮発生、冷凍海苔での挽回を期するも年明け一月上旬、栄養塩低下による再度の色落ちが発生しました。

私は12月議会で鹿島市からの緊急助成要請を行っておりました。

品質維持のため施肥も19回実施され多額の費用負担が養殖業者に掛かります。

燃料費の高騰、機械購入の返済など死活問題へととなります。今回

の緊急助成は施肥資材代、約3割(1,280万円)

の補助となり養殖業者の負担軽減の一助となると共に、迅速な行政の支援は今後、海苔養殖業者の心の支えに繋がると確信し賛成します。



一般質問

一般質問

安心・安全な「まちづくり」について



松尾 征子 議員

質問 子どもたちの通学路について、安全問題は、把握されているのか、自転車道や下校時暗くなったからの安全が確保されていない。

答弁 防犯灯など経費の負担が設置部局の負担となる問題があるが子どもたちの安全のためには、市が責任を持って電気代などの保証をすべき。

答弁 防犯灯で設置が必要なら区長と協議したい。街路灯ならまちなみ建設課で協議し、設置が



必要なら公費で負担するのが適当と思っている。

防災行政無線のデジタル化と防災センターの建設について



竹下 勇 議員

質問一 平成24年から26年の実施計画で、防災センター建設が計画されているが、どのような機能を持つ施設をどこに建設するのか。

答弁 通常時の利用で、研修や合宿に対応できる施設はどうか。

答弁 鹿島は直嶋公や田澤先生を生んだ文教の地であり青少年や大学生・新入社員等が研修したり、スポーツ合宿が出来る施設にしたらどうか。

答弁 防災センターは、大災害により市役所を使うことができなくなった時に、それに代わって災害対策本部を置く為の施設で、場所は未定だが、日常でも研修所などとし

ての利用を考えたい。

質問二 市民会館の建設については、いろいろな意見があり建設費が34億円程度かかるが、市民会館を今、建設すべきなのか又、建設するときの決定までの手順についてお尋ねします。

答弁 平成23年度の市民会館耐震診断では、大丈夫だったが、施設は古くなっていく為、立て替えを検討していく。24年はまちづくり懇話会で検討しエイブル建設の例に倣い多くの人の意見を聞きながら慎重に検討していく。市役所内部では、財源の目処をつける。



安全安心な鹿島を目指した火災対策について



福井 正 議員

質問 本年1月に発生した、西牟田の火災は、由緒ある建物部分を全焼した。以前の高津原、城内、西牟田での火災は何れも、全焼している。

答弁 以前も、初期消火の為の、消火栓、防火水槽整備や防災用としての水路整備、調査、水路図作成について質問してきた。

答弁 消火栓について、高津原地区や北鹿島の森地区、下古枝地区に消火栓未整備箇所があるが、その理由と設置予定は。水路特に逆川は、元々農業用水路として、生産組合の方が管理してこられた。水路が複雑で迷路の様になっている。

答弁 その水を火災時には火災現場に早く届ける為に

水路の流れの方向を確実に制しなければならぬ。その管理と、操作はだれが行うのか。水路図の整備を行うのか。

答弁 消火栓は、堤や河川など自然水利から150M以内は、自然水利を活用するようになっていく。防火水槽は、地元区からの要請と、用地提供があれば設置する。水路管理は、基本的に区長、生産組合、消防団で対応するが、消防水利として活用するには、市総務課で調整しなければならぬとおもっている。

再度関係者とともに現地調査を含め再点検する。



一般質問

鹿島市の街並みの方向性について



中村 一尨 議員

質問一 県内外の色んな街を調べて見て回りましたが、街並み作りに成功されている街にはいくつかの共通点があります。

それは地方独特の街の統一性と、安らぎ癒しの空間です。

鹿島は歴史、伝統、文化が積み重ねられた素晴らしい街であり、旭ヶ丘公園から広がる城下町や武家屋敷、長い歴史の祐徳神社、伝統的木造建築の美しい長崎街道を持った独特の街だと私は思いますが、行政として、鹿島市全体でどのような街並み作りを考えているのか。

街作りの目指す方向を揚げるべきではないのか。

ながら、事業を進めております。

子供の教育、子育て支援について

質問二 子供の教育や子育て支援は鹿島市の未来の街づくりです。

しかし、核家族化や地域の繋がりの希薄化で、子育てや子供の教育が非常にやりにくく、大変な状況になってきているということをよく聞きます。

また、佐賀市や嬉野市、武雄市には子育て広場という親子で触れ合える施設が毎日設置してありますが、鹿島では月5、6回しか子育て支援広場が開催されていません。

子供達のために未来の鹿島のために、子育て支援を強化して頂き、子供の教育を通して将来の街づくりを考えるべきではないのか。

回答 子育て、子供の教育はとても大切なことです。

未来の鹿島のためにしっかりと今後支援を強化していきたい。

国民健康保険税の軽減対策について



角田 一美 議員

質問一 国保会計の恒常的な赤字経営からの脱却と市民負担の軽減の為に医療費の削減対策、後発医薬品(ジェネリック)の普及促進に取り組み必要があるが、どう取り組んでいるのか。

回答 糖尿病等の生活習慣病は発生すると長期にわたり治療・療養が必要で医療費が高額になることから各種健診、特定健康診断、特定保険指導、訪問指導等、病気の予防に重点を置き取り組んでいる。ジェネリック医薬品の利用については、医療費の削減になることから医師会と相談しながら

普及促進に取り組んでまいりたい。

高齢者福祉施策について

質問二 一人暮らし、高齢者だけの世帯が増加しているが、孤独死防止、安否確認のための対策に積極的に取り組むべきではないか。

回答 高齢単身世帯1,013戸、高齢夫婦世帯1,056戸と高齢者の世帯が全世帯の2割を超えている。

一人暮らしの高齢者などを対象に、食生活改善事業、愛の一声ネットワーク運動推進、緊急通報システムの整備、安否確認のための配食サービス等を実施しており、今後も必要に応じて更に充実してまいりたい。

少子化の現状と問題について



稲富 雅和 議員

質問一 児童生徒数や学級数の減少が教育現場に及ぼす影響は、どのようなものがあるのか。

回答 大集団での活動が制約されお互い切磋琢磨する競争相手が少なくなり、またコミュニケーションが減り、かけてくるのではないのか。

大人数のころは、もまれ成長してきた。現場は工夫してやってみてもらっているが、集団活動ができる部分が欠けてきているのではないかと思う。

質問二 今は魚の使用が週1回程度だが、昔は魚の献立が多かったと聞くが、減少の原因は何か。

回答 栄養士が栄養考慮して作っている。

子供たちが飽きないよう、残食量を考慮して魚より肉に行く傾向があったり、安定供給、調理しやすいなどがあり、だんだんと肉のほうにウエイトを置く傾向にある。

食育に関連して学校給食について



一般質問

放課後児童クラブ（危機管理）について



徳村 博紀 議員

質問一 七浦小学校区で児童に対する首絞め事案が報告されたが学校の先生、児童クラブ指導員に情報が伝わっていないかった。情報の共有が出来ていない。

答弁 危機管理について問題があると思うがどう考えているか。

答弁 確かに共有されていなかった面がある。その日のうちに教育委員会と話をし、2月29日の校長会の時に学校から連絡してもらおうようにお願いをした。

地域公共交通（循環バス・乗り合いタクシー）について

質問二 今後、公共交通の運営が、非常に困難で

あると思われる。一便平均乗車人数が巡回バスで0.86人、乗り合いタクシーで0.84人。一人当たり運行原価はいくらかかっているか。

答弁 現在は補助金もあり試験運行中だがいつかは決断をしなければならぬ時期がくると思う。官民挙げて生き残るため努力しなければならぬと思うが、いつぐらいとお考えか。

答弁 巡回バスで二千五百四十四円、乗り合いタクシーで二千六百九十六円となっている。

答弁 当初からの思惑からすればかなり少ない乗車率である。もっと努力をしなければならぬと思う。24年度に再評価をし、結論を出さなくてはならないのではと考えている。

※今後地域公共交通が残れるよう官・民挙げて更なる努力をお願いしたい

学校教育について



勝屋 弘貞 議員

質問一 学校教育の習熟度授業・武道必修化・食育・市長の教育感についてどう考えているか。

答弁 算数においては、単元を絞り行い、効果も出ている。

答弁 武道は伝統的精神的な面を持ち、修養的鍛錬の目的を持っておりと理解する。礼法重視は自己制御・相手への尊重など人間形成の重要な要素だ。

答弁 安全面については県や地域の柔道協会と協力して十分配慮する。

答弁 著の使い方のマナーは厳しく時間を掛けて直していくしかない。

中学生までの家庭生活の中で生きる術の素地が出来るが人生最初の師は

父母。親が責任を持ち、学校との分任体制に地域の協力や大人が範を示すという事が子供の成長に繋がる。

教育と教養は別もの。

教育は無いより有った方がよい。家庭教育・社会教育がしっかりしていれば教養は身に付き、品性品格に繋がります。人間となる。

子供達にはそのような成長を望む。

色々な意味で本物・一流のものに触れてもらい、より良い豊かな人生になればと思う。

質問二 ポリオワクチンについて

答弁 厚生労働省は、昨年「不活化ポリオワクチンの円滑な移行に関する検討会」を設置し、移行の方法などを検討中。

生ワクチンと違い発熱などの副反応が少ないのが特徴。

防災対策について



水頭 喜弘 議員

質問一 東日本大震災で岩手県釜石市の児童・生徒はほぼ全員無事に避難する事ができ、背景は防災教育（想定を信ずるな・ベストを尽くせ・率先避難者たれ）の3原則を徹底され、8年かけて釜石の奇跡となった。本市における同教育の状況課題について。

答弁 安全な行動、態度を身につけるのが狙いで、平成15年管理マニュアルに地震津波の対応が盛り込まれていないので追加し、基本的には学校全体で行う。緊張感をもって防災訓練を行う。

介護保険について

質問二 保険料の大幅な上昇を抑制することが求められています。

答弁 負担能力に応じた保険料負担にすべきと考えますが。

答弁 県内各保険者の保険料が全国的に増加する見込みであることから、その上昇の抑制に財政安定化基金を取り崩し一部交付されることになっている。

また保険料について区分を今までの9段階から10段階とし、特に3段階には準3段階と3段階を作り、それを第3段階、第4段階に細分化し保険料の低所得者に対する軽減措置が図られる。

「災害対策」において
「防火用水」の確保について



松本末治 議員

質問一 防火水槽設置において、設置場所の提供があれば、水槽建設費は市負担（補助）で対応すると聞いたが駐車場の地下に設置し貯水した水は共用とすれば「防火水槽」と認め、建設費用は、市負担で建設設置可能なのか。

二、鹿城川の水を常時下流へ一定水量流せないか

答弁 その土地が適当であり常時使用可能である事、その土地が次世代まで使用可能になる文章による締結証明書が有る事。

常時流せるか、区長・消防団・水利用者の方々と相談し検討する。

鹿島市産業振興
生産基盤の整備について

質問一 林業がこれだけ衰退したのは今で言う「TPP」が原因と聞くが。

二、「鹿島沖でカキの種苗生産」と新聞記載があったが。
三、オレンジ海道を活かす会の今後実践活用について。

答弁 昭和39年林業の全面自由化により外国材木が安く量的にも豊富であった。

長崎県水産総合試験場が平成21年から取組まれている。

市としても当センターからの情報収集に努める。現在作業部会が結成されている。

今後J.A・太良町・鹿島市三者の連携強化の為三者が合意して何に取組むか今後こまかな体制作りを取組んで行く。

平成24年度予算審査特別委員会報告

去る3月6日の本 度予算審査特別委員会に付託されま

に審査を行いました。一般会計予算は、総額一三三億七千計予算、公共下水道事業特別会計予算、三〇〇万円で、経常分譲事業特別会計

後年度負担を考慮しながらも、定住促進や子育て支援など重要な政策的事業や、まちづくりの投資的の事業を推進していく。第5次総合計画邁進型」の予算となつてい

また、各都ごとに担当部長より、予算説明資料により、予算と新規事業等について説明があり、ただちに質疑に入り、

副議長を除く14名 一八〇項目以上の議員による新年 質疑応答がありま



委員長 橋爪 敏



特別委員会による蟻尾山運動公園クロスカントリーコースの現地調査

一般質問

平成二十四年度予算審査特別委員会報告

肥前鹿島駅及び駅周辺の開発に関する提言書（概要）

鹿島市議会では、平成23年度まちなか活性化特別委員会を設置し、当面する肥前鹿島駅及び駅周辺の開発に関する問題を取り上げ、駅前会ほかとの意見交換会、市内イベント会場及び駅前にてアンケート調査を実施し、平成24年2月9日「JR肥前鹿島駅や駅周辺の開発に関する提言書」を樋口久俊市長へ提出しました。



1. 駅舎改築について

駅舎を改築するに当たり、最小限の投資に抑えながらも、JR利用部分と公共部分の配置の工夫やスペースを確保し、市民や駅利用者の利便性を向上させる。

①トイレの改築

改築に当たっては、高齢者等の利用を考えゆったりとした多目的トイレを採用し、トイレと待合室を一体化するとか、又は、駅舎の軒を突き出して、最低限雨に濡れないようにする。

②軽食ができる喫茶ルームの併設

ゆったりとしたスペースを作り、自動販売機、椅子・テーブル、レンジ、給湯設備等を設置し、飲食、談笑ができるようにする。

③駅舎内の物産センターを増床充実

観光案内所と併設している物産センターの品揃えを増やすとともに、鹿島市の物産を地方発着することをPR（安価にする）して購買意欲をそそる。

2. 駅前広場整備について

①JR所有駐車場の開放

駅舎の軒を突き出して駅利用者が雨に濡れない状況での荷物の積み降ろしができるよう送迎車を停車させることを可能にする。

②送迎用駐車場の整備

駅前広場を利用して短時間無料の駐停車場を整備し、送迎車及び駅舎内での物産購入者の利便を図る。

③マイクロバス停車のスペースの確保

JR利用の観光客増加のため、送迎用マイクロバスが停車できるようにする。

3. 駅周辺の整備について

鹿島市の顔として観光客の目を意識したものにし、発酵文化食品、酒蔵見学、地方文化とのふれあいを紹介していく情報発信基地の役割を担うものにする。

①ゲームセンター・ボーリング場・アミューズメント施設

②喫茶店・甘味処・レストラン・食堂施設

③鹿島駅を中心とした案内板の整備

平成24年2月9日

鹿島市議会まちなか活性化特別委員会

委員長 松尾勝利 副委員長 角田一美

委員 竹下 勇 伊東 茂 松本末治 福井 正 松尾征子

行政視察報告
平成24年2月6日～8日

農商工連携推進特別委員会

視察場所①徳島県勝浦郡上勝町(人口:1964人高齢化率49.54%H22.4.1現在)

『葉っぱビジネス』で大成功し日本一元気な町と言われる上勝町。その仕掛け人である(株)いんどり代表取締役社長である横石知二氏の話聞くことが出来た。「ヒト・モノ・カネ・コト(情報)が行き来する太い『ハブ&スポーク』で繋がる事が町の発展につながる。楽しい・仕事が面白いと言うことが一番で、少々無茶なことをしても気にしない。そうしないといい発想は出てこない。今の若者は役に立ちたいとか、自分が何かをやりたいとか、希望をたくさん持っている人が増え、いいことだと思っている。人のつながりというものが良い仕事・良い環境に繋がっていく。」と包容力のある笑顔で語られた。

集荷の様子を見学した後、間伐材等の未利用木材をチップにし、ボイラーの燃料としてバイオマス事業の説明を受けた。上勝町は全国に先駆けて「ゼロ・ウェイスト宣言」を行った町でもある。発電した電気は月ヶ谷温泉の冷泉を沸かしたり施設の暖房設備に利用しているとの事であった。

環境を考えてのまちづくりがここではしっかり根付き、その取り組みが全国からの視察を生み、『研修』が事業として確立されている。



(株)いんどり横石社長(中央)



ボイラー



木材チップ保管庫

視察場所②愛媛県内子町 (株)内子フレッシュパークからり

第三セクター方式で設立。資本金7千万円株主数677人で、住民が経営に対し関心を持ち、それを支えている。販売するごとに商品の販売情報を記録し、集計結果を在庫管理やマーケティング材料として用いるシステム『POSシステム』と、『からりネット』と呼ぶ、売上情報を携帯電話・音声電話・ファックスによって送信するし、在庫管理や出荷調整、売れ筋商品の分析結果などをリアルタイムで伝達するシステムを導入している。

問題点として、経年劣化による機械の入れ替えや修理などの経費が出始めたこと。販路が難しいとの事であった。



内子フレッシュパークからり



バーコードをかざすと生産者の情報・栽培履歴がわかる

※〈視察の感想〉上手くIT技術を活用し情報の共有化・システムを確率、しっかりとしたリーダーの存在、前向きな姿勢、熱き想い、謙虚さを忘れないで、どうしたらよいかと考え行動しているという事だ。

委員長 光武 学 副委員長 勝屋弘貞
委員 中村一堯 稲富雅和 徳村博紀 水頭喜弘 橋爪 敏

議会あれこれ (平成24年1月～3月)

平成24年

【1月】

- 13日 議会だより編集委員会
- 16日 議会だより編集委員会
- 19日 全員協議会
- 18日 第203回佐賀県市議会議長会
- 27日 農商工連携推進特別委員協議会
- 30日 全員協議会

【2月】

- 2日 広域行政圏市議会協議会第43回総会
- 5日 平成23年度「佐賀県全羅南道友好訪問団」訪問(～7日まで)
- 6日 農商工連携推進特別委員会行政視察(8日まで)
- 14日 議会運営委員会
全員協議会
- 15日 杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
- 20日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会定例会
農商工連携推進特別委員協議会
- 21日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
全員協議会
- 22日 佐賀県西部広域環境組合議会定例会
- 24日 鹿島藤津地区衛生施設組合議会2月定例会
杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会
- 28日 議会運営委員会

【3月】

- 1日 平成24年度3月定例会開会
全員協議会
まちなか活性化特別委員協議会
- 5日 3月定例会議案審議(～6日まで)
- 8日 総務建設環境委員会
- 9日 新年度予算審査特別委員会(現地調査)
- 12日 新年度予算審査特別委員会(～15日まで)
- 13日 議会運営委員会
- 16日 3月定例会一般質問(～22日まで)
- 19日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
- 22日 議会運営委員会
- 23日 全員協議会
3月定例会議案・討論・採決・閉会
- 27日 杵藤地区広域圏組合議会2月定例会

行政視察受入状況 (平成24年1月～3月)

- 1月 26日 鹿児島県日置市議会行政視察
- 31日 鳥取県倉吉市議会行政視察
- 2月 13日 石川県野々市市議会視察

次期定例会は
6月8日(金)に開催する予定です。

議会を傍聴してみませんか

議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。傍聴される方は、当日傍聴席の入り口に入り、傍聴人受付票に必要事項を記入して下さい。
(TEL63-2104)

請願の提出は
6月5日(火)午後5時までに

市政についての意見や要望を直接議会に提出する制度で、議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と言います。どなたでも提出することができます。(陳情・要望等については、議会事務局で、随時受け付けています。)

議会中継をご覧ください

ケーブルテレビにより本会議の様態を生放送しています。また、当日の夜7時から再放送をしています。ぜひご覧ください。
地元ケーブルテレビ(株式会社ネット鹿島)から映像を提供いただき、ユーストリーム社のインターネットストリーミングサービスを利用して、本会議のライブ配信および録画配信を行なっています。

お問い合わせは 議会事務局へ
(TEL)0954-63-2104
(FAX)0954-63-2314
(Eメールアドレス)
gikai@city.saga-kashima.lg.jp

**公表します
議長の交際費**

金額単位:円

区分	1月		2月		3月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔意	0件	0	0件	0	0件	0	0件	0
見舞い	0件	0	0件	0	0件	0	0件	0
祝儀	3件	13,000	1件	5,000	2件	6,000	6件	24,000
会費	1件	3,000	5件	23,000	2件	11,000	8件	37,000
接遇	0件	0	0件	0	0件	0	0件	0
その他	0件	0	1件	2,800	0件	0	1件	2,800
合計	4件	16,000	7件	30,800	4件	17,000	15件	63,800

編集後記

5名の編集委員で、1年間4回の議会だよりの編集に、取り組みました。
この議会だよりを通じて、より多くの市民の皆様が議会と市政に関心を持っていただくよう、わかりやすい紙面づくりに努めてまいりました。
今回の議会だよりで編集委員を交代します。

【編集委員】

- 委員長 光武 学
- 副委員長 角田 一美
- 委員 中村 一堯
- 委員 橋爪 敏
- 顧問 橋川 宏彰
(副議長)

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。